

令和6年度 香川短期大学  
一般選抜前期  
指定校選抜Ⅲ後期（特待生入試）  
『国語総合』問題用紙

令和6年2月1日

注 意

1. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は□一□から□四□まで、12ページあります。
3. 解答用紙、問題用紙ともに受験番号を記入しなさい。
4. 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

受験番号	
------	--

一

次の文章を読んで後の問に答えなさい。なお、設問の都合で一部省略と改変がある。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います

問一 傍線部(a)と(e)のカタカナを漢字に改めなさい。

- (a) ムエン      (b) ケンチョ      (c) イツカン      (d) ケツカン      (e) イツダツ

問二 空欄 X に補うべき語を、本文中から二字で抜き出して答えなさい。

問三 傍線部①はどのようなものか、それを述べている部分を本文中から五十字から六十字で抜き出し、書きなさい。

問四 傍線部②は、学問と学者(研究者)についての、どのような考え方に基づくものか。それを説明した次の文の空欄に、本文中から適切な語句を抜き出して補いなさい。なお、各カッコ内の漢数字はそれぞれの字数を示している。

個々の学者は(ア 五字)の構成要素であり、その学問的(イ 三字)も一面で共通するものをもつため、(ウ 七字)によって、学問全体が(エ 二字)するという考え方。

問五 傍線部③はどのようなものか、本文中から五十字で抜き出し、始めと終わりの各十字を記しなさい。

問六 傍線部④とあるが、それに結びつく具体例として挙げられているものは何か。文中から十一字で抜き出して答えなさい。

問七 筆者は「学問」のあり方をどのように考えているか。最も適当なものを、次の選択肢の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 芸術作品は達人の作品であっても、素人に向けて発表されるという特徴があるのだから、学問も、その分野の専門家だけでなく素人にもわかりやすいことを追究すべきである。

イ 芸術家はたとえ陽が当らなくとも、その活動を続けているという特徴があるのだから、研究者においても、陽が当たらない学問領域であっても研究を続けるべきである。

ウ 既存の学問領域でさえ、はじめは個々の研究者が創造したものだから、学問を創り出す過程を大切にすべきである。

エ 学問を発展させるためには、過去に論証されたことを重視し、論証されていないものは重視しないという厳格な態度が求められる。

オ 学問は共同作業なのだから、個々の研究者は学界の発展に貢献すべく、最新の研究を蓄積することに注力しなければならない。

二

次の文章は小川洋子の小説『ミーナの行進』の一節である。これを読んで、あとの設問に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

問一 二重傍線部 (a) (e) の読み方をひらがなで答えなさい。

- (a) 巖かに (b) 支度 (c) 和む (d) 紛れて (e) 各々

問二 傍線部①のカタカナを漢字に改めるのに最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 新々 イ 心々 ウ 津々 エ 深々 オ 辛々

問三 傍線部②「完璧に振る舞った。」について、それはどのようなものか。次の選択肢の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 微笑をたたえ、周囲に愛想をふりまいた。 イ 「私」の本当の母のふりをした。  
ウ 式が終わるまで飲酒と喫煙を我慢した。 エ 優雅で上品な印象を周囲に与えた。  
オ 細身の魅力的な体型を強調した。

問四 傍線部③「ポチ子」とは何か。あなたがそれを他者に必要最小限のことばで説明することを想定して、本文中から得られた情報を用いて二十字以内でまとめなさい。

問五 傍線部④「朝はたいてい上機嫌だった。」について、なぜ「私」は「朝」だと「上機嫌」なのか。それを説明する、次の文の空欄に本文中の語句を用いて適する言葉を書きなさい。ただし、左の文中のカッコ内の漢数字はそれぞれの字数を示している。

- 天気の良い朝は、(ア 十六字以内) ように感じられ、夜になると感じられる、自分だけ(イ 九字以内)がなく、  
(ウ 二十字以内) という気分を忘れさせてくれるから。

問六 傍線部⑤「闇は世の中からたった一人、私だけを選び出して心の中へなだれ込んでくる。」について、「私」の「心の中へなだれ込んでくる」「闇」とは何か。それを言い換えている語句を二つ抜き出して書きなさい。なお、それぞれの字数は、(I) 三文字、(II) 六文字である。

問七 傍線部⑥「彼らがどうして人に来た手紙にこれほどの興味を示すのか分かった」とあるが、その理由が書かれている部分を本文中から四十字以内で抜き出さない。ただし、いずれも句読点、カッコも一字と数える。

三 慣用句には「動物の名」を用いたものも多い。次の各傍線部があとに書かれた意味になるように空欄に漢字一字を補いなさい。

① この業界は競争が激しいので、生き（ ）の目を抜くような者でなければ勝ち残れない。  
…事をするのにきわめて素早く、抜け目ないこと

② 上司のパワーハラスメントを糾弾する姿は、まさに窮鼠（ ）をかむだ。  
…追い詰められて必死になれば、弱者が強者に勝つこと

③ 彼らは上司、部下の立場の違いを超えて、長年にわたって水（ ）の交わりをしてきた。…きわめて親密な友情や交際

④ かつて大学の研究者の中には（ ）牙の塔に籠もり、現実社会に向き合えないと批判される者もいた。  
…俗世間から離れて精神的で難解な探求に没頭する態度やそうした場所

⑤ 受賞を逃した作家が、いかに審査委員を批判したところで、所詮（ ）の遠吠えでしかない。  
…臆病者が陰で虚勢を張ったり、他人を非難したりすること

四

次の各文の傍線部について、その文中における意味として最も適当なものをそれぞれ選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ① 主役である私がこの程度の怪我で撮影を休んでは沽券にかかわること甚だしい。
- ア 自分の立場が悪くなる  
イ 自分の転換期となる  
ウ 自分の対面が損なわれる  
エ 将来の自分の影響力が弱まる  
オ 自立心が失われる
- ② 若いピアニストであったが、その演奏は素晴らしく、なかなか堂に入ったものであった。
- ア 苦悩に満ちて精神的な深みがある  
イ 意欲に挑戦的すること  
ウ 思いのままに楽しむこと  
エ 奥義を極めていること  
オ 技術や知識がよく身につけていること
- ③ 私の恩師は筋金入りの武道家で、老境に入った今でも鍛錬を欠かさず門弟を多く集めている。
- ア 形式や理論を重視する  
イ 何ごとにも筋みちを大切に  
ウ しっかりとした信念をもつ  
エ 鋼のような強い筋力をもつ  
オ 素晴らしい素質をもつ
- ④ 受賞者の意を汲んで祝賀会はごく内輪でのささやかなものとなった。
- ア 意味を理解して  
イ 同意を得て  
ウ 依頼にこたえて  
エ 心づもりを察して  
オ 考えに反して



- ⑤ 社運を左右する事業の準備に追われてきたが、息をつくことなく新たな企画の担当に指名された。
- ア ほっとする    イ はっとする    ウ うんざりする    エ あきらめる    オ 沈静化する